諸家系譜

位
と 折井 落合 尾崎

共二百廿五内
共八十五

太政官文庫
和書門
類 三二一四九
號
函 二三五
架

内閣文庫
和書
類 三三四九
冊 二三五
架 一五六 函 一一二

内閣文庫
番號 和 32649
冊數 225(99)
函號 156 23

表二百石
松平長門守家来

清和源氏 □
前田喜三○源用豊高

系譜

を
辛七號

寛政御書上
松平長門守組
村井市左衛門

源姓
相原　後改　相井
姓祖参議源流朝臣六郎義光　武田
太膳大夫信義六代孫主馬之助時光三男相原
三郎時信住于甲州巨摩郡相原之郷依号
時頼男左衛門尉信衛之子信家之子信
信政之子孫三郎信武之子長信長男
幕之紋　三ッ井桁　足利八ノ字
家之紋　割菱　三ッ井桁
替紋　三ッ井桁　足利八ノ字
相原六郎時信七代
次父　相原内記　初名何兵衛
母　名某　詳ならず

永正六己巳年甲州ニ於テ[illegible]新府[illegible]
享[illegible]之[illegible]武田[illegible]信玄
天文十七年七月[illegible]信玄[illegible]
弘治二辰年[illegible]月[illegible]
[illegible]

女
武田信玄[illegible]
[illegible]

次男
母
[illegible]青木尾張守信道女
天文二己巳年[illegible]
弘治三[illegible]武田[illegible]
永禄十三[illegible]
慶長[illegible]信玄[illegible]

天正八庚辰年十月[illegible]
天正十壬午年
信長出[illegible]
神君[illegible]
[illegible]
[illegible]信長[illegible]

神君[illegible]
甲[illegible]
武田[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]武田[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

同廿四日甲州於松枝陣御手柄之節三左衛門
御前ニ而御感状被下置一同御目見仕候處
三郎御前ニ召出被下置　此時被下置ニ付
右ハ信長公
八月十四日於小牧陣御取立ニ相成候而信長公
御前ニ而被召出討死致候ニ付同人ニ被下置
中合戦ニ付三左衛門尉新右衛門弟右衛門ニ被下置
信長公御前ニ而被召出討死致候ニ付同人ニ被下置
見三郎於同所討死仕候ニ付
討死候ニ付新右衛門儀同月廿七日ニ
父信長公御甲州相模之節被召出候而
右弟三人御手柄ニ付被下置候
同年十月廿三日右之御書付御感状被下置
七月廿四日右之者共被下置候
御紙面　右之通被下置一同ニ被下置
被下置候ニ付此旨御承知可被成候

同年十二月廿七日於小牧陣御手柄御感状被下置
同年十二月十七日右之者共被下置候
同月十四日信長公御取立ニ相成候而
天正十二甲申年十一月信長公御感状被下置
武門衆一同信長公御感状被下置候
織田信長公御判
同年十二月廿七日於長島陣御手柄之節
後三合戦ニ而討死仕候ニ付同人ニ被下置
被下置候ニ付同人ニ被下置候
同年九月廿四日右之通被下置候
一同廿八日
天正十二甲申年十一月廿七日織田信長公御感状
右之者共
同年十月十四日信長公御感状被下置候
御父子共ニ被下置候

之割合川筋両端御普請之出来候上ハ相減候ニ付
左之通於下書上ニ付取之出来候分相除候ニ付奉書上候
右之通御普請筋役人中江申上候分ハ其高ニ而書上申候
成候上ハ相違無御座候
天明四辰年四月御預所ニ相成候節書上候
旅行且国役普請ニ付仕立之節　上ハ何ニ而も
御普請之御勘定所并御代官所ニ而仕候
新田御普請所之分御預ケ相成候ニ付差上申候
書面之通相違無御座候
一
天明七未年十二月御預所ニ相成候
合七百三十二俵御座候
天明八申年正月御勘定所
御預所ニ相成候節千石三十二俵
九年御座候ニ付御勘定所へ差出
御座候ニ付此段御届申上候

一道三年中御預ケ之道筋并道々御座候
同年十二月右之通御勘定所へ相伺候所
右之通ニ御座候ニ付　差上申候
通り相成候
同年中御預所ニ相成候
御代官御勘定所へ御届申上候
御預所相成候節御普請御座候
三月中御勘定所へ差出候　上ハ
九月中右之御勘定所へ御届申候
同年八月中御預所ニ相成候
御勘定所御普請御座候
御預所御座候

次第

一　村役人中

右組
相済候
惣代

政恵　浅野因幡　折井市左衛門　九兵衛
組頭折井三郎
母　某女
妻　高倉某　尾張徳川家臣女
後妻　某　山口宮内少輔信勝女
永禄五壬戌年生　幼名折井市左衛門
天正十年七月廿二日
神君甲州御出陣之節、御招ニ而罷出、御目見仕、御奉公仕
其上御朱印
天正十壬午年四月廿一日　甲州折井ニ而二百貫文
本領并新恩御判物頂戴仕
天正十七己丑年十一月廿一日　甲府ニ而知行書替
後ニ御朱印頂戴仕
天正十八庚寅年四月廿七日　於甲州加増八十俵

同年十二月廿四日御加増被仰付、御朱印頂戴仕
遠州大久保十兵衛殿へ御預ヶ被成、則罷越候
同年十月御奉行被仰付
同年八月朔日　御旗奉行被仰付
御旗奉行之節御番被仰付
上総国之内知行
企郡岩田村　同国吉田村
知行之内御書付頂戴
二ヶ所　岩田村吉田村二而
武州之内知行被仰付
天正十九辛卯年四月　武州之内知行御朱印頂戴仕
于今所持仕候
同年十一月、甲州ニ而御加増
此外知行所之内

文禄元年正月三宅惣右衛門康貞等と同しく御代官を
奉行し後東照宮に近侍し御馬廻を勤め
二百石を(?)給ふ
慶長五年八月
台徳院殿に附属せられ大久保相模守忠隣に属す
同年九月信州上田御陣に供奉し
慶長八年十二月東照宮[illegible]
門例上下[illegible]
慶長九年十二月[illegible]
門例[illegible]
[illegible]
慶長十三年十二月[illegible]
慶長十五年正月[illegible]
[illegible]
[illegible]
慶長十九年[illegible]

同年十月二日死 五十二
法名[illegible]院[illegible]宗心

女
母某
母 上同
[illegible]三左衛門某妻

女
大番
[illegible]組
母 上同
坂本[illegible]某妻

女
母某
母 上同
曽[illegible]雅楽助定久妻

女
大番
[illegible]組
母 上同

次[illegible]
母 上同
柳井[illegible]
大番
[illegible]組

女
天正十八庚寅年八月廿二日卒去

女
大御番
堀越中守組
母 上同
中尾仁左衛門光重妻

女
御舎弟
母 上同
曲渕庄左衛門正吉妻

政次
始正秀 新井市左衛門 後九郎兵衛
實母 山高三右衛門信直女
實父 曽根孫左衛門二男
實母 新井市左衛門政吉女
妻 新井仁左衛門政直女 りこと
継妻 横山半右衛門昌秀女
慶長六辛丑年生 武州鉢形

外祖父之養子
慶長十九甲寅年大坂御陣父名代ニ而罷出
神君御目見仕候
父市左衛門病死ニ付遺跡被下置
文禄之頃 御旗本ニ被召出
慶長二十卯年大坂御陣ニ罷出
御目見仕候
酒井雅楽頭組ニ罷成
元和二年ニ御番衆ニ被仰付
同年九月廿三日卒
駿河大納言様附
寛永九年御役替
大御番ニ被仰付

[illegible]
大猷院殿[illegible]
寛永九年[illegible]月[illegible]日[illegible]
[illegible]
寛永十[illegible]年[illegible]月[illegible]
六月[illegible]
[illegible]
五[illegible]百石
寛文[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]
年二十七
法名[illegible]

女
母同
[illegible]妻

女
母[illegible]
[illegible]中川[illegible]妻

正利
[illegible]六[illegible]
母 [illegible]女
妻 [illegible]女
後妻 [illegible]女
後妻 [illegible]
寛永八[illegible]年[illegible]
寛永五[illegible]年[illegible]
寛永[illegible]三[illegible]年[illegible]
寛永[illegible]年[illegible]
寛永[illegible]年[illegible]
慶安四[illegible]年[illegible]
承応[illegible]年[illegible]
万治二[illegible]年十二月[illegible]

享保同年十月家督相続御目見御小姓組番頭
寛文二壬寅年十二月十六日生年十歳ニテ御目見
寛文九己酉年四月十六日御前ニテ元服
相続
延宝二甲寅年継入大番
天和二壬戌年御書院番
元禄四辛未年十二月十六日御加増
宝永四丁亥年十二月十六日
享保六辛丑年十二月廿六日西刻

女

母　青

同　妻

丙辰

母　九月

母

妻　松平　女

慶安三庚寅年九月

寛文五乙巳年十二月

寛文七丁未年十二月

出生

寛文八戊申年十二月

延宝元癸丑年九月

元禄四辛未年十二月

元禄六癸酉年五月

元禄十丁丑年四月

元禄十三庚辰年

同年

元禄十四辛巳年

正徳二壬辰年

享保六辛丑年

享保十四年酉七月二日病死　同年
実者同名與三左衛門二男
宗十四歳　其内ニ死ス
母　某女
元禄二巳年十一月廿六日於同所病死
長兵衛
母　上同
小松子女之子
享保三年同所ニ病死　小松子女之子

正蔵　ツ子
母　上同
彌井七之丞　摂津守
元禄五申年十二月廿六日
従同所病死
同年十二月廿六日同所ニ病死
元禄七戌年四月十一日元服於
同所江戸[illegible]

九左衛門
宝永元申年十二月廿六日
五年同所ニ[illegible]三左衛門養子
宝永六丑年十二月三日死去

正容
実父　彌井清太夫
宝永六丑年七月廿日名跡養子被仰付
享保元申年十二月廿日宝文正辰二男
後年又五郎ト改ム
成五郎右衛門

重賢
母　某女
延宝四辰年
元禄四未年十二月廿日
被仰付[illegible]
松山藩士　棚倉

女　御先手黒田豊前守直邦妻
母同　松平出羽守源三保女

女　御先手松平主計頭久粹妻
母松平伊賀守女　松平主殿頭源忠重女

女　寄合新見大和守正房妻
母同

正浣　六五郎　九郎兵衛
母同
妻　間部田図書庶孫女
元禄十六未年十二月十三日大番
正徳五未年四月廿九日死　廿八

茶道頭五郎左衛門元充

女二人

某　浅野所　正徳六申年八月廿五日死　六歳

正容 タメ　六五郎　五郎兵衛
母　松平出羽守女
妻　桐間図書組　折井五郎左衛門女　正流女
元禄二巳年八月九日生　武州深谷領
宝永六丑年十一月十六日跡目五百石
正徳六申年十二月十六日大番組頭
享保二酉年八月廿一日江戸入中川組
享保四亥年十六月廿六日入松平新九郎組

享保九辰年十月廿九日父四郎左衛門酒井紀伊守組
寳暦九卯年四月廿二日病死行年三十六歳
同年七月廿六日死去
葬門跡号東漸院正覚寺泉

正弘
母 上月
浅之丞 権之助

留辰
母 柳井四郎女
妻 内藤谷之丞同重女
吉之助
吉蔵
明和七寅年正月廿二日
正徳六申年九月廿五日
享保十一戌年十月廿二日同日死
延享二丑年正月十二日死三十七
葬門跡号勝知院天光寿了道

女
河井紀
後山中清之紀三浦作兵衛政幹妻
母
実 柳井正之丞女
妹 母 田中女
女
実 柳井正右衛門女
西尾寿庵 石尾河内守氏紀妻
女
田中紀
石河主殿紀
母 上月
柳 丹波守
青山七之丞成昌妻

正路
母
郷右衛門
昭文行 勘之丞 源治郎 九郎兵衛 正房
妻 母 柳井氏女
実 河村紀
中山伊賀守紀 三浦作兵衛政幹 二男

実母 柳井氏女
妻 内藤丹後守女 永井飛騨守直亮養女
元文元丙辰年十二月十五日生
延享元甲子年九月廿四日部屋住之節婚姻
寛保三亥年十二月十五日卒
宝暦九卯年七月廿二日任同 入松平右近将監
宝暦十辰年十二月十五日 同大坂城代
明和元申年八月十五日 少将
宝暦十二午年十二月十九日 少将同所
明和元申年六月十二日御役御免 就病身
安永四未年十二月九日申出 大坂城代
安永五申年十二月十五日 従四位上
天明元丑年十二月廿六日 隠居
天明八申年十一月十七日 卒
寛政元酉年十七月十二日 判形

忠寄
従五位下 元年
明和四亥年七月十八日 叙 従五位下
同年十二月十八日
従五位下 任 九曜
母 某
正篤
実母 永井氏女
妻 養女
継母 米津 松平甲斐守養女
明和四亥年九月十五日生
天明元丑年十二月七日 任同
天明八申年十二月十六日 入部
寛政元酉年十二月廿三日 入部 従四位下 任少将

寛政七卯年二月十日小金原御鹿狩之節[illegible]
寛政八辰年十二月十五日死

政德
女
天明元丑年十二月[illegible]
二階堂[illegible]
[illegible]

政武
母
折井酒之助
[illegible]女

為丈
折井浪之助

為安
母
上同
折井福之丞

女
母
上同

本国通称[illegible]
高千石　武蔵国　相模国
寛政五丑年
麹町[illegible]
折井市左衛門
正為
天文七申年七月[illegible]

割菱
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

元組

天保十年亥七月十五日御下知　利息帝返済之次第

却て願済之外
高之儀ニ申旨
有之候得て
是迄之儀ニ有之候
儀之
七月十日　可返納
半金ニ手形を
相渡六ヶ月を

同年八月十七日御下知ニ而返済
同年三月十日字

甲州之儀ニ而申渡相井南方
江預り之証文ニ有之
相井小ニ於七ヶ年賦直利内
左候得者於六ヶ年之門而
ちニ於七ヶ年之門下御帝
西年文七斗神山ニ於是文
直利ニ而御七ヶ年振是文
門而相違ニ六ヶ年之直利
小判文之ニ而右相違之段
形之完済之上願之割
是迄ニ相違ニ済候
て御守忠殿御年

天保十年 八月十六日 大久保新十郎 御手之
銀座市左衛門

同年十二月七日御判物

本銀座年寄中銀座相勤候者共二而 [illegible]
相応之御手当之儀 [illegible]
[illegible]
其外 [illegible]
[illegible]
[illegible]
又其外 [illegible]
[illegible]

右者銀座年寄 [illegible]
[illegible]
被仰付
天保十年十二月七日 御老中御判
銀座市左衛門

右同日新井長左衛門 [illegible]
御手当 [illegible]

新銀座井上因幡守 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
事

右ハ若年寄ゟ差遣し候書付

天保十三寅

十二月廿六日

（御右筆）

折井長次郎渡

甲州街道内藤新宿ゟ三百五拾壱丈程御関所迄

四里五丁内外山ゟ沼田五丈五寸

右者絵図面之通差遣候書付

天保十三寅

三月廿六日

（御右筆）

小栗長右衛門渡

同月七日御門番人数御定之上ヘ壱千人ヶ所御付

御門（御外）御番衆

曾根孫兵衛

入戸野又兵衛

杉山図書

杉山四郎兵衛

戸張孫七郎

同名富之丞

小尾与左衛門

門 新之丞

須藤美作守

其外杢右衛門

本多助五郎

杉山伊左衛門

杉山織部

切戸源左衛門

小澤長之丞

同名権左衛門

金丸左右衛門

倉原新八

桐谷九十郎

山下四郎兵衛

石原三九郎　名主刑部左衛門
吉村惣三郎　堀内繁左衛門
山之辺ゟ出　[illegible]
大久保刑部少輔殿[illegible]御印
天正[illegible]年十二月[illegible]日

天正十二年[illegible]十二月十六日[illegible]

本領之儀[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
大[illegible]
[illegible]
[illegible]

天正十[illegible]年十一月[illegible]日　[illegible]
[illegible]

天保四巳年十一月十六日町奉行所書付一通御渡

今度御入用ニ付
上納金之儀ニ付
此度之御用ニ付
差出候様被仰付
存候者共ニ而
公儀江御納可致
候ニ付而ハ
再往之儀ニ付
且又御沙汰次第
所存之通申付
候様被仰付候
以上

今度御入用ニ付
町人共江御用金
被仰付候ニ付
差出候様申渡
候処御用
可差出候
則及御沙汰候也
御談
右之趣相心得
此以上
以上

酉十一月 町奉行所

町奉行

御書付之通
被仰渡候間
御請可申上
右之通
御座候
其方共
以上

酉十一月 町奉行所

御渡し候様申渡
御書付之通申渡
御請仕候

酉十一月 遠山左衛門尉

町奉行 大草能登守

御普請

半七と申　銀壱割
西川氏
武川氏申

天明五年十二月十二日何某組頭宛ニ割出之候所存

甲州田畑取箇之

一　金六百四拾両永七貫文余　　請取之
一　金三百九拾両余永三貫五百文　小判四百両
　　金七百二拾両之内永[illegible]
右者御下ヶ金并年貢金之内四百両上申候
上納ニ三千両之内[illegible]御座候
一　都合[illegible]
　　天明十七丑年
　　十二月廿日　　　何某組頭宛

[illegible]

同月武川氏より別紙ヶ条書之写取候処
則組頭へ相渡し置候様申渡候

甲州河内領之内

一　三表六斗　　　　　其外壱割
一　八百四拾俵　　　　同断小割
一　二百六拾俵　　　　同壱割
一　四拾八俵　　　　　同壱割
一　九拾四俵　　　　　同三割
一　四俵　　　　　　　同断
一　砂拾八俵八斗　　　同八両
一　砂取壱表　　　　　同断

一 九百四拾弐俵三斗四升四合 与山村

一 百拾七俵四斗四升 中里村

一 五百四拾九俵三斗七升五合四勺三才 寺沢村

一 拾六俵三斗四升六合五勺九才 平之内村

一 七百卅三俵三斗四升五合七勺八才 高田村

一 三百七拾七俵三斗四升二合 堀之内村

一 五百五拾八俵三斗五升八合三勺九才 赤坂村

一 百八拾四俵三斗三升一合九勺三才 星川村

一 百六拾表七 柳沢村

一 四百九拾九俵二斗七合五勺二才 土橋村

一 三百五拾七表三斗二升五合七勺三才 今井村

一 四百四拾五俵三斗二升六合三勺 新屋村

一 三百拾六俵六斗九升一合 入野村

一 百八拾四俵七斗九合三勺三才 本郷村

一 六拾九俵二斗七合三勺八才 三反田村

一 百八拾表七 山之内村

一 六百九拾七表一斗八合三勺三才 田原之内村

合七千四百三拾四俵三斗壱升五合五勺

此斗? [illegible]

外[illegible]

右者[illegible]

三斗[illegible]

御印[illegible]

天明七未年

五月

御代官所

[illegible]

同月十六日山王神主へ相渡候同通
天正十八寅年正月十四日石川伯耆守殿連名
一通ニ而御渡候一通山王書候ニ一通ハ[illegible]
一通紛失仕候

敬白起請文

一 今度相月[illegible]此[illegible]の[illegible]
[illegible]

一 自今以後[illegible]書[illegible]自然[illegible]
[illegible]

一 [illegible]おやこのけい[illegible]
[illegible]大小神祇[illegible]

右之旨趣[illegible]
三所権現[illegible]
八幡大菩薩天満大自在天神[illegible]
[illegible]
[illegible]

慶長十七年子七月十五日　山王神主[illegible]
血判
[illegible]

敬白起請文之事

一 今度[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 太閤[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

三所大明神 当国一二三大明神八幡宮 大日並天神 [illegible]

天正十八年
十月九日　吉田兵部法印　判
[illegible]　判
[illegible]

天正十八庚寅年四月上旬[illegible]
[illegible]

[illegible]

一 弐百俵　三宅勘右衛門
一 五百俵　西岡　三郎長
一 四百俵　吉本尾　淺
一 四百俵　吉本伝三郎
一 八十俵　下條平右衛門
一 八十俵　柿田伝七郎
一 八十俵　荒谷良左衛門
一 八十俵　同　五兵衛
一 八十俵　同　加兵衛
一 八十俵　同　忠兵衛
一 八十俵　西岡安兵衛
一 八十俵　同　卯之助
一 八十俵　野村久右衛門

一 八十俵　吉田伝三郎
一 八十俵　伊藤新右衛門
一 八十俵　吉田勘右衛門
一 八十俵　岩崎孫三郎
一 八十俵　入戸野又左衛門
一 六十俵　柳沢兵右衛門
一 六十俵　山下権四郎
一 六十俵　荒谷善之丞
一 六十俵　山下喜兵衛
一 四十俵　野村市兵衛
一 四十俵　吉野伝之丞

合弐千九百六十俵

酉ノ年

藤沢三左衛門　御判

大久保十兵衛　御判

田中与三右衛門　御判

慶長拾年十二月朔日御割付御代官所石門蔵元

御知行御割付之内ニ而相渡シ之通可被請取候

一　武州所付宛行覚

一　百三拾石余　　柳沢兵庫

一　百弐拾八石余　　河原三左衛門

一　八拾石余　　岡田五兵衛

一　五百六拾四石余　　萩原縫殿

一　八十五石　　曽根孫四郎

一　六十石余　　桜井九十三郎

一　九十四石　　同　長次郎

一　百弐拾石余　　曽根　新蔵

一　百三拾石余　　三宅左兵衛

一　五十石　　山口与吉掃部

一　八十石　　杉原二左衛門

一　四十石　　同　源右衛門

一　百石　　下條右近尉

一　弐百石　　桜井市左衛門

合千五百四拾弐石余　斗五升

右之通御割付相渡シ [illegible]

右河内國錦部郡之内ニ而弐拾三石余有之
高六拾七石中ニ御掃除料為御手当被下
證文之儀例年之通可差出候以上

慶長九辰
三月十日　御判　判
大石○○　判

村井市兵衛殿

慶長十五戌年十二月廿七日御料所河内國錦部郡
門前并寺領被下候之通之例得

證文之儀入置申候
金三百四両弐分銀四匁
右者去亥年分河内國錦部郡之内中年貢

證文別紙之通入置申候以上
戌十月　大蔵代
高長
村井市右衛門殿

山本大蔵　印
其○○　印
保科○○　印
安藤○○　印

證文之儀今年也
金百三両弐分六厘五毛
右者河内國錦部郡之内卯辰二年分
酉七月廿二日御代官中別紙之通入置
申候以上

御長袴之代　公方様御名

寺社奉行　老中ニ

中奥坊主　御側衆ニ

無　　　御新番ニ

以下皆同し

右之通相心得

中奥小性より
七五郎　丹後守

京極

御小納戸
御書院番頭　□
○御小納戸頭取

ヒ
滲

大坂城代七五郎　丹後守紀

村井　六郎二郎

源氏

折原　後改
折原

源経基王後胤武田大膳大夫信義
末流青木十郎同苗二男折井二郎
同次　領邑居住之由此変名巨摩郡
武川折井郷故ニ姫ノ號折原
七代折井内記御次男惣領　折井
市左衛門次男二男　市右衛門家元折井市左衛門ニ守之

幕之紋　丁子八ツ

家之紋　轡之内花菱

替紋　丁子八ツ之内九ツ花

折井同記御次人数覚
御名不知　御姓名　又市殿へ
次男
母
妻　不知
生国不知
武田信玄公御勝頼公江仕被成候処其後
有之候得共不相知候
元亀元年正月十六日相州ニ於
荒沢表ニ而走廻候而万事覚人
従信玄中絵図又相州相田中表江

高名付
天正八庚辰年上州於善光寺表ニ
而信玄公御供候而甲州へ参候
覧之候後信勝頼公生害之以後
天正十壬午年二月信長甲州御出
張之節進発之砌岩殿ニ而岩殿絶ニ付
夏ニ候得共二月十五日
御同意ニ而武州青梅辺
信州御判ニ而信州之内折井市兵衛
事合之計御中判候ニ而
御使番ニ而...

無之候間以書出申上候
上意ヲ以所々代官ニ被仰遣候
以同年六月結城差出之候
隠居様以京都ヨリ被成御下知候打井
市左衛門尉兼帯之計御ニ者
急ニ申付候ニ而左衛門尉ニ而申付
石之儀 上意ニ申聞候ニ而
披露申上置候ニ付而者
申付候儀ニ而今中将殿を
申付差出候ニ付而出張之節
越前御法度同様之儀被下候

府城ニ而地氏之事申附候間
其元今時分之計御意致度候
石以兼而小将之中御法度 隠
居様
小沢出羽
隠居様 御意以前武州ニ而其時分之合
追而別ニ而定廻之儀 上聞
同七月廿六日宣計御打井市
右衛門尉
御書付被載任之
御書写

一、右之通被仰渡候ニ付
在所ニ而役人共江
急度申渡候而
可相慎旨被仰
渡候
右ニ付家康御判
　一参府之節候
　相伺申候

従酒藤七月中旬被成候　御書付
之紙面相届候処御請之御答
陣之義者京都御礼共相済候ニ付
其表御用件相済候節
中御蔵之御同様之儀者御人
武州之者御役之内御拝借被
在所ニ而之義修復之事御代官
衆江も右之通御申立候処
御修復之儀御申渡之候御挨拶
相済候ニ付而者遠江守様之儀被成
中役仕度所之趣中山御受之

御辯證之上
御墨判之御書出ニ而、永禄元年
依之頂戴仕候、盗賊ニ而失申候
御先祖様御判之写左ニ相認
右御書写

本領之内自分知行分・南二俣之□
分貫文・所務両貫文三百五十貫文、同細
萱郷、五貫文・三百貫文、門原之山・同
振五貫文・亀沢門・須沢・六貫
五百文・平利門・松尾細萱之郷

拾五貫文、同所之内ニ而拾七貫文、
同所併合田地之内、前之五貫文、以前
之拾五貫文・印判・与板五貫文、右之
拾六貫文之分、同所之内にて貫文、其外
同山之分・未見之上、并山田之分
等之事、右所宛行之上者、
取之所無相違、弥可抽忠
可有忠節者也、仍如件
天正十年十二月七日　家康御判
杉浦吉右衛門殿

天正十二甲申年尾張小牧御陣之節
武州之者共信州勝馬尾ニ而
御召出ニ付而武蔵ニ而為御
上意尾州ニ茂参り出候処　御
一戦御勝利ニ付小牧野中為御射
米御用出ニ付宮御貰候
天正十三酉年九月信州真田
表ニ御人数差遣候節武州
之者共大久保七郎右衛門尉様備組ニ
而御先手[illegible]走廻仕其上[illegible]之儀
来年[illegible]其後[illegible]

安永七戊戌年正月
御支配ゟ御書付武州願筆ニ而[illegible]
[illegible]
御書写

右之通人々[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

秋元但馬守殿家来
事入精売出し
右大久保七之助白
彼等ニ申渡候
旨任之者細工人
可申付候
右之趣承届候御判
武川氏判

右何書承載佐野帯刀判子

[illegible]
[illegible]
今度惣人数御貸付被仰七
成候ニ付年々之当り
印形相改候て書付差出
候ニ付如此ニ御座候
右之通相改候ニ付以上
右之趣相違無之候
秋元但馬守殿入精候
延享之大久保七郎右衛門

中ニ而無御座候得共右ニ
付而者御差支候ニ付無益之
御書面之趣ヲ以取計可申
御申渡有之且又安心致シ候様
可申上候

忠震 判
尚志 判

[illegible] 大和守
松浦河内

武川 [illegible]
[illegible]

口上

御書面之趣承知致候
之[illegible]御取計候
[illegible]御申立之趣
[illegible]御承知[illegible]
[illegible]御[illegible]
[illegible]
可申上候

平七郎
[illegible] 判

急度申入候
陣之御年貢米
未見之下知遣
百姓共立置候
可被仰付候
豊後守
十一月十三日
風升備後守
周防守

急度申入候然者
当所諸役等之儀
在々諸百姓共
御用之節者
其方在々諸百姓
共御用之節
諸役御免之
候へ共向後
当所諸役之事
申付候
以上

安藤對馬守 [illegible]信濃守
酒井修理大夫 [illegible]
忠利判
風井[illegible] 忠世判
武門[illegible]

[illegible]薩摩守入道自筆

御上洛之御為[illegible]文
之儀[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

三月十五日　安藤對馬守
信[illegible]

酒井[illegible]
忠[illegible]

[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

安藤對馬守
信[illegible]

六月廿日　酒井備後守　忠利判
酒井雅楽頭　忠世判
諸門跡中

当御城中御樽肴
御門跡御参賀之義
しらへ有之候て
御門跡

寛永十八年御大法
相勤候ニ付西
御幸御成之砌
十二日より廿二日
於而御精進也
上様御法事相濟
重重ニ逢候旨
此御門跡中御
参詣候而御説
法も有之候而御
下向ニ付御ね御

語候ハヽ彼是不都合
中山道筋ニ而満足可
為後年ニ可被成
候文言有之一万石ニ
可申候ニ付而者
百人ニ付ニ入候ニ而諸役
ニ付ニ而通筋之
成候ニ付而ハ難成候
其ニ付まて見届
しれ候ニ付而[illegible]
三百人ニ而相極申候

ニ而一万石ニ付百
候ニ而可被得其意候

安藤対馬守
重信判
巳月廿日
土井大炊頭
利勝判
永井信濃守
尚政判
酒井雅楽頭
忠世判
右同前

武州府中宿寄之覚

一 百六拾六石ハ　柳沢主殿

一 百拾八石六斗八升ハ　保坂二左衛門

一 八拾石ハ　小関六左衛門

一 三拾六石四斗弐升ハ　石河猪太郎

一 八拾六石ハ　萩原民之丞

一 二拾石ハ　折井九郎三郎

一 九拾弐石ハ　同　長次郎

一 百拾石　萩原新蔵

一 六拾石　小泉忠蔵

一 七拾五石　山高宮内

一 八拾石　青木与右衛門

一 弐拾石　同　源左衛門

一　千石　　高橋左門尉

一　弐百石　杉井市左衛門

合千弐百石高ニ衣弐千俵

右之もの共御役相勤候

為ニ付御蔵米

米取ニ而出来立候

右之外百六石七斗八升

随日々ニ相納申候

訴ゟ申上候納不仕候ニ付

ヶ様之通ニ御座候

寛文辰九月

六月六日

成瀬小兵衛　名字判

大石内蔵助　名字判

杉井市左衛門　判

渡申船賃事

銭行

一 六百六拾三石八斗
　　壱升七合　口　まけのゝ

一 百六拾八石七斗八升
　　合　口　神まのゝ

一 五百四拾八石七斗七升
　　合　口　芦川ゝ

一 八拾八石二斗四升
　　九合九　口　すゝきのゝ

一 百二拾石五斗九升八合　口　せんさいのゝ

一 拾石九斗三升　日　西宮田ゝ

一 三百六拾九石四斗
　　九升九合　口　三宅田のゝ

一 九百四拾石五斗二升
　　八升七合　日　打宗ゝ

一 三百拾二石八斗二升
　　三合　日　鈴鍛ゝ　同

一 百四拾石三斗七升
　　四升七　日　今市ゝ　同

合二千四百四拾石九斗九升六合

右之分可為前格ニ付田畑
候處是又上中下之振ニ而無之
りこ

辰六月二日

武川殿

大久保中之信判
保家熊蔵判

渡申御組札之事

一 五百六石八斗弐升 弐石 壱番ニ付

一 弐百六拾九石六斗 但壱番ニ付 四百弐拾石

一 百弐拾弐石六斗八合 但壱番ニ付

合弐百八石八斗弐升 四拾

右之通無相違相渡申候

辰六月二日

大久保中之信判
保家熊蔵判

野井九郎次郎殿
同 九之丞殿

水戸懸り之処

一 仁右衛　下嶋勘六郎
一 同　曲渕宗七
一 同　青木辰衛
一 同　青木治郎左衛門
一 八右衛　下嶋市三郎
一 同　横田源七郎
一 同　芦谷辰三郎

一 同　同　長次郎
一 同　同　加藤左衛門
一 同　同　長三夫
一 同　曲渕辰兵衛
一 同　同　友之丞
一 同　村井九郎次郎
一 同　吉田源三郎
一 同　伊庭彦太郎
一 同　吉田勘次郎

一 同　萩原平之丞

一 同　入戸野又三郎

一 六俵　柳沢三郎助

一 同　山口将監

一 同　萬年六之丞

一 同　山高長兵衛

一 四俵　松井市兵衛

一 四俵　萬年三平

合弐千五百六拾俵

右之通可被相渡候也

日附年号

成瀬吉右衛門

大久保十三郎

里見源左衛門

次忠　杉井九郎次郎

母　ニ而

父沼田之家譜ニ而続佳衛門宗元

杉井市左衛門養子ニ而

次右　初名九郎次郎　仁左衛門

母　ニ而

妻　柳沢三郎忠徳長女

実父　苗根内膳女

出生　年月家譜中焼失

右仁左衛門次右衛門市左衛門跡式無屋

其ニ嫡子九郎次郎ニ而名改九郎

次郎跡願之通百石仁左衛門ニ被

仰付

同年冬来　御入国之節式例

被召致領見之節ニ相勤願

仕候右衛門御遠慮ニ相成候御目

見被不仕候ニ付御書付ニ被成

御免相勤候節ニ其後毎年

御目見江仕候
翌卯年奥州御陣之節
大久保七郎右衛門備組ニ而岩村ニ罷在候
従夫仕候
文禄元辰年三月ニ而従家康
大久保十兵衛連判之紙面頂戴仕候
御書出一通并九郎殿御連判
二与従九之丞勘兵衛荒井市右衛門名
右之御書出シ申候ニ付御備御陳之節
並須賀山口御松拾石ニ而御取
江 御預

慶長五庚子年関ヶ原御陳之節
台徳院様ニ而 御供大久保相模守備組ニ而
参会并 信州真田表ニ供奉
仕候御帰陣之節 無年
御目見江仕候 御用ニ而罷出
御役宛御縁之判ニ而御番罷在
中分御連判之御書御朱印之
右御書御渡ニ御座候
頂戴仕候
其後慶長九甲辰年
権現様 御代成瀬隼人正殿

加増六千石拝領仕候
慶長十九寅年大坂御陣ニ供奉
上頭供奉仕候
翌卯年大坂再御陣ニ供奉
本多佐渡守備組ニ而尽忠之
御供仕
元和九亥年駿河大納言様江
御附人御番仕候
寛永十酉年
人敵流様　御扶持方被下
寛永十七辰年七月廿日　病死

酒井紀伊守様御内酒井左衛門ゟ
同年九月十日御家人被召出御書
院番仕候元年中御番勤宛行
村知行武百石拝領仕
寛永十九午年六月四日死七十二歳
戒名　沼泉全信居士
法名　漢堂淵鐵

吉長　卯九歳　父七歳　仁良
母　御使番惠女

妻[illegible]組

慶長十乙年江戸ニ而生

右伊兵衛与申候儀

寛永十九午年十二月父伊兵衛

跡式江　御切米御番所御書院

明暦元年八月

厳有院様江為御附被仰付御納戸組頭

同年九月十二日御目見被仰付

御勘定吟味役　御代官

同年十二月ニ而御加増被下置

正保四申年十二月

大猷院様御代　上意ヲ以

厳有院様御附ニ而被仰付　御広敷江為

成候節者御駕籠脇廻り御供

仕候　御切米御加増被下

慶長二乙年正月

厳有院様御代　御徒組頭被仰付

慶安三寅年九月十二日御目見御役

従之助御書院　御切米　御加増

河野与組江　御書院番組頭杉本

其子孫江　御書院

寛文四辰年　月　　

其後組ニ小普請入仕候後大久保
右京亮組ニ罷成
延宝四辰年十二月十日病死仕候
七十二歳 戒名 [illegible] 金剛寺ニ
葬申候
法名 厚覚院殿識窓道樹

時因
初名九郎三郎 父治部右衛門 仁兵衛
女
妻 本多若狭守組 [illegible] 組中之组 [illegible] 仁兵衛 [illegible] 女

後妻 御徒組 石橋九兵衛 勝良女
慶安元子年 [illegible]
右仁兵衛 御目見
厳有院様 御代
寛文七丁未年十二月 [illegible] 仕候
大御番ニ 御番入 [illegible] 戸田 [illegible]
組ニ而御番相勤
寛文九己酉年十二月 [illegible]
[illegible] 仁兵衛 [illegible]
子 [illegible] 杉 [illegible]
[illegible] 組ニ而御番相勤

延宝元丑年十二月廿七日元宗為綱江

役有

常憲院様御代

貞享二寅年十六日出元為綱相成

右　役有

同年十二月廿四日御前西後細服

元禄十巳年四月廿日出府寛

右　役有

文昭院様御代

宝永六丑年十二月廿二日寛ニ相済

右

浄円院様二丸江御移徙之節右紀州ニ

元御広敷御出入ニ付御用相勤候ニ付

右之勤候ニ付

享保六丑年十二月廿二日[illegible]

御役　御免[illegible]

二之丸御役　御免出精[illegible]

右之[illegible]

享保九辰年正月[illegible]

七歳之[illegible]全勝寺

葬[illegible]

法名[illegible]

男次
母　三田治郎左衛門女　本妻ニ而無之
神田御殿御書院番三田甚五兵衛
男貞ハ養子ニ罷成候

次清　知名九郎兵衛　折井仁左衛門
母
妻　甘露寺惟経ニ仕候　長谷川安左衛門女
元禄七戊年生

右仁左衛門次清儀
常憲院様御代
元禄六癸酉年十二月九日初而御目見
大御番ニ被召出　御切米三百俵被下
与組ニ入
元禄七甲戌年七月御切米弐
百俵拝領仕
元禄十二己卯年十二月御書院番阿部志
摩守組ニ被　仰付新御番ニ
御番替ニ　御目附御酒造
被組ニ入同年十二月十日上使

條助殿江
宝永元申年能勢市十郎組ニ而
桐之間御番ニ被仰付
宝永二乙酉年小普請入被仰付
井戸対馬守組ニ而相勤

有章院様御代
正徳六申年閏二月廿六日大御番衆
御番組之内新番衆ニ御書入
相勤候江戸表御番組江入

有徳院様御代
享保九辰年四月廿六日父江被下置
野間[illegible]組之通り御番相勤申候
小出[illegible]殿ニ御預ケ
享保十乙巳年十月御所番被仰付
七之助組之者西丸新御番衆ニ被仰付
被仰付候
元文二巳年閏十一月廿六日松平
桂之助組之者
御切米新御番衆別組ニ而被仰付
酒井[illegible]組ニ而被仰付候
寛保三癸亥年八月廿六日加増
小普請組ニ被成[illegible]

於京都
同年十月十二日紀州ニ而出家
仕入候　紀伊徳川中将殿ヨリ寺院ニ入
也　寛永元甲子年八月廿九日　九年
六十六ニ而卒去
法名自心院殿了無宗清禮
以上　紀伊中将殿ヨリ紀伊江
御延　御見廻ニ而紀州江出候
翌年度々紀伊中将殿ヨリ
五十石御扶持　紀伊江

貞知　母　紀伊中将之御
　古橋九左衛門娘也
年月不知大川喜兵衛婦世話ニ而
西山自殺　年不知
法庸　母　紀州出生
　同所
寛保元辛酉年十二月廿日御入室
同所紀州出生　法京養子
不知

女子　早世
母　同上
元禄元辰年十二月廿五日死

豊致　紫石ノ紀
母　同上
貞享二乙丑年十月廿六日死

貞義
母　同上
坂田吉助
年月不分ニ付後紀伊國住居

組頭平馬ニ而貞紀養子成
初名丹後又九郎　寛保元酉風明

次包
養母　服部半蔵正辰女
実父　竹腰長左衛門定　日根野弥次兵衛定之二男
従五位下　大番頭
実母　中川要人女
蓼　書院番
妻　神谷文右衛門尚徳
大御番　御小姓組
後妻　加藤伊兵衛光幸女
宝暦元未年五月廿五日　御目見　初而

一　右仁右衛門跡目之儀

有徳院様御代

享保乙巳年九月六日出生文入捨并
仁右衛門跡屋敷之通被下之候付
宝暦三酉年十二月六日新規組合
入被書付差上候付御沙汰
沙汰無之候並普山御座候組之儀
延享元子年八月廿五日文右衛門
元同年十二月廿七日文蔵武右衛門
親類向寄衛門被并渡辺
被下置候

惇信院様御代

宝暦九己卯年十二月松平右近将
監殿御書付半紙皆御渡之
右ニ付御座縁側間へ被召
右之何度入念之候段被仰
御代替并御縁組之節

浚明院様

天明三卯年八月十二日之候之節之者
小普請入之組之者
同年八月廿五日之通申付入
之御年四年御之通被下
之者何分段入念被致候節之者

久留米有馬中務大輔家来　沼田書役組
小野源吾養女
天明二寅年八月十一日　浅田武訪
養父源吾江相渡ス　嫡子九三郎
三郎悴九三郎を縁組之処源吾嫡孫
九三郎之弟亥之助次男嫡孫相組ニ
縁組之儀も源吾承候
寛保元酉年四月十日判決
同年四月十三日相極候ニ付此段申上
同年同月廿六日落着
法ニ不当候ニ付御風聞

二條大殿より書付を以郡代へ差出候
右御中ニ而懸候段被仰渡候
年月不知旧記之内抜書
寛保元酉年四月十七日同所
南番所ニ而大岡越前守殿御渡
右之通被仰渡候
元文五申年十二月廿日大岡越前守殿
同所被仰渡候

次第

九郎三郎

母

神谷又市郎尚澄女

妻　　大御番土屋伊賀守組
　　　山岸平右衛門光晴娘
後妻　大御番青山備前守組
　　　河田平十郎長興養女

享保六辛丑年十月廿八日江戸出生
右九郎兵衛妻病死後後妻
安永七戌年七月十四日病死仕候
大御番土屋土佐守組与力又右衛門
娘ニ而右九郎兵衛娘妻ニ罷成候
以後嫁候処安永中別居仕離縁仕
又後妻ニ貰受候ニ付
永井伊勢守組同心之娘ニ而相果申候

天明元丑年七月十六日病死仕候以後
葬ニ市ヶ谷門前寺江葬申候
法名　雲光院求法童女
一　二月生　童女
以上

一　娘　右同断

　　　　後妻
　　　　　後又左衛門光明娘
嫁
安永九庚子年十月廿二日出生
小田切土佐守組与力　右衛門方ニ而
一　右娘子相成候

女子
某氏ヨリ養女ニ而在所ニ而死
石川七兵衛後ニ七郎兵衛妻

母
神谷文右衛門尚治女

女子
母
早世
神谷文右衛門女
元文二丁巳年七月十三日死

次男
初名三郎次　後杉井九郎三郎

母
加藤甚兵衛光勝女

妻
黒部左衛門同人
長部六左衛門定雄女

後妻
享保十四酉年四月朔日死
石川小兵衛雅節女

右實母田中伊左衛門儀故有離縁

寛保二壬戌年十一月五日離縁

後妻
黒部左衛門同人
長部六左衛門定雄女

明和七寅年十二月十五日卯刻死

壱岐守代

元和七酉年火之丸御作事奉行被仰付
山崎組頭ヨリ御目付役被仰付嫡孫組
仕候而御役相勤申候
同年九月十日御用番　連判　被仰付候
右之段同所ニ而被仰付候御書付有之候
御用部屋ニ而被仰付候
元和九亥年七月廿日　御目付
其後御作事奉行被仰付組頭
御組頭御役相勤
同年十月廿七日御組頭被仰付候

西御丸　御作事奉行被仰付候
一同所御成之節御供仕候
御用部屋御勤被仰付候
寛永三寅年四月廿七日大番頭
御書付被仰付候　御番頭
御組頭被仰付候
組頭被仰付候
寛永四卯年六月廿日　御番頭
御用御勤被成
同九巳年十二月廿七日　御役御免
被仰付候

二保之後土屋新助合ニ嫁土屋部ト
御服之儀御振仕立候
寛政七乙卯年二月朔日文左衛門
出府被仰付候
寛政十二庚申年四月廿七日之所
書翰到来　後役御免
御見廻之儀而ゟ仕候之後
寛政九巳年十月廿三日隠居
妻征明寿御上之儀其二之丸作
妻死亡
後室御番頭御仲之妹
山田喜兵衛娘業

女子

母　河田宗右衛門常紀女

次郎
杉井清三郎
母　河田宗右衛門常紀女
右源三郎改次郎寛政十年
六月七日家督被仰付

久可
号小竹
母同断
寛政七乙卯年七月廿六日出生
自分之儀統之屍号小竹之事

次悟　卯六歳　杉井三次郎

妹　益次長へ定嫁　文化二十八二日　大達同道

次嘉　酒造五郎

妹　同行

嫡子　平四郎

妹　同行

寛政四子年十月廿六日死

杉井勇次郎

妹　いわ

杉井藤吉

妹　同行

右之通御座候

三河三吉後　右国中嶋文

仁國宝飯郡　渥美郡大崎村五兵衛所

寛政五巳年五月　杉井九郎三郎　印

家元当時無足見習相勤罷在候
組頭并布衣以上御役人衆江御目見
御願被成下候ニ付都合罷出候様
代々之儀ニ付奉願候ニ付申上候
拝借仕候ニ付御[illegible]
家元之儀ニ付[illegible]
猶又無滞相勤候様仕度奉願上

惣領

未六月九日
小笠原兵部少輔

法印御付 □、
六角越前守 ○ 堀田豊前守

先祖書

本人当分兵部少輔組支配
折井峯次郎

源姓

折居氏　先祖之儀清和源氏甲斐國巨摩
郡武川折居郷致居住折居九郎次郎と
次正と申候　折井とも書候由ニ御座候
其後及先祖内井知　同郷致居住罷在候　慶長八年
浅野紀伊守様被召出候文禄年中
御先手之節折居六郎右衛門次男折居四郎
御奉公仕候二男

次重　折居六郎右衛門次男　大坂御陣之節御供仕候家元折井与申候

母　不知

妻　不知

生国甲斐国折居ニ而御座候　寛文二年卒仕候

享保十年月日清右衛門死去不知

次正　折井長次郎　貴氏改折井

吉田氏之女

實父　入戸野利兵衛門昌

實母　折井内記知次之女

妻　　之女

弘化元甲辰年八月廿日家督相續

右ハ小普請組入戸野利兵衛門實方二男

當時入戸野知兵衛養子ニ相續候處

御目見之上小普請組ニ被仰付

天保十五年正月惣領ニ仰渡候人

甲州之住人ニ而

同六月廿日折井長次郎殿養子被仰付

大御番人被仰

神君　甲州御入國之節御供仕候

同年御番入被仰付

甲州御入國之節長篠之戰ニ於テ討死

新府御城之節

御旗奉行ニ被仰付

其後

中山道

御國　

中山道通之節

御目見

中判相場之儀、御見陣之節ニ而も後々例之右
之通

御尋候

御目見之儀相場并帯刀之者参之中ニ而
右之人々之儀御相場合同様ニ而御座候
御對陣之節御中通ニ御座候間之段ニ而
御代替中御座候而も可有之候御付出候御
指図之上御相応一同之分新規之事ニ候
相成御陣列之節延引御蔵役并新組
皆迄之出張御出候ニ付御座候之節
仕候 三月七日 中判相新組之席並三十人組
節ハ 御尋中 順蔵 古河御席并
三十人組之

新組之并三河国之者共壱人ニ付弐両弐分文押
御同役之者へ四貫五百文 御目付
小出之者共三百文宛御蔵奉行
御役之者之宛三貫文 御勘定所
遣候様之節之可有之事
右御奉書を以可申遣 御在所
天正十年
十二月廿六日 御印
松井左衛門尉

天保五年中 年中 収納御陣之節御目付御渡之

[illegible]桐生[illegible]
[illegible]
天正十二年甲申八月[illegible]
[illegible]
天正十四年丙戌四月[illegible]
[illegible]
同所[illegible]
天正十七年己丑十一月[illegible]
[illegible]
天正十八年庚寅[illegible]
慶長五年庚子[illegible]
慶長八年癸卯十二月[illegible]
慶長九年甲辰二月[illegible]
[illegible]桐生[illegible]

元和二年[illegible]

門次 柳井[illegible]

實 [illegible] 入戸野又[illegible]
妻 [illegible]

天正九年辛巳[illegible]
慶長十八年癸丑十二月[illegible]
[illegible]
元和九年[illegible]六月[illegible]
寛永元年甲子[illegible]
寛永十四年[illegible]
寛永十六年[illegible]
寛永十七年庚辰[illegible]
同[illegible]
寛永二十年[illegible]十月[illegible]
[illegible]

正次　又三郎　後左門

実母　白石氏女

実父　阿部長右衛門四男
　母方ニ入ル

養母　高倉氏　白石三右衛門妹

後妻　同上　石井清右衛門女

寛文元辛丑年生

元禄三庚午年十月　御蔵奉行ニ被仰付

元禄十丁丑年　御国元ニ而病死

元禄十四辛巳年六月廿二日　同人跡式相続

門三十九才　六十七

四十四才

女　甲斐国植村又左衛門妻

女　母右同　同人二女　田中又三郎妻

女　右同

某　桐井源三郎女

母　石井氏女

元禄二己巳年二月十九日　享年七十九

梅巖宗香

某　母　右同

　早世

正隆　右衛門

母　石井氏女

妻　同国　三宅門左衛門女

寛文八戊申年生

元禄八乙亥年六月廿五日　召出

元禄十丁丑年六月　病死

享保四己亥年十二月廿四日　病死　入

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　紀

寛延四辛未年八月九日誕生
宝暦六丙子年九月廿四日死 六歳
葬于同寺 号正諦院玉露香指

女 母 父 二歳而死女

女 母 父 上同

男 母 上同 楢井宗之助
享保[illegible]年八月廿九日死
葬于同寺号 桜山宗幻禅

女 母 父 上同

興正 母 上同 宗之助
妻 佐野[illegible]氏 大久保伊賀守之女

享保七壬寅年四月十九日生于江戸
寛延四辛未年八月九日家督 父入御留守組
宝暦二壬申年七月 入桜田御殿記
宝暦十三癸未年六月 入御小納戸ノ組
明和元甲申年十月八日 為御小納戸頭取
安永三甲午年九月廿八日 叙従五位下 補[illegible]
天明元辛丑年閏五月十二日 御役御免
天明六丙午年九月廿三日 [illegible]
寛政九丁巳年八月十九日死七十六
葬于同所号 完[illegible]院 家全

男 母 妻 父 大久保氏女

寛保二壬戌年十二月十四日死

幸次郎

明近

母 某

妻 高木九兵衛貞省女 後安部又四郎信郷女

延享元甲子年十二月家督

寛延元戊辰年七月廿八日御勘定組頭

宝暦二壬申年 月廿七日御目見

宝暦四甲戌年閏月十二日隠居

宝暦七丁丑年十二月十六日死

宝暦十二壬午年十二月十二日

女

母 同

女

母 某

延享 年十二月 日

萬南 母 某

宝暦二 年十二月

女

母 同

女

母 同

某 折平太郎

女

母 同

正聲 父 次郎

妻 浅岡氏女

実父 某

実母 某

女　母同
寛政四子年九月廿七日松平……家来……
……
其子……久次郎正繁……

正伸（ノブ）　清次郎　母折井内女

女　母同

某　母同　折井金之丞

右之通御座候

高六百俵　内百五十俵……　上総国……
……
寛政十年十二月　折井要次郎　五十六　印

未十二月五日　永井大和守へ出ス

前書之通
右……　堀田豊前守

家譜

御小姓組
永井大和守組
折井要次郎

と　覚　差上

蒔絵師
幸阿弥
清和源氏末葉足利義政公之時幸阿弥ト号ス
佐々木氏之臣也後足利義政公ニ召出サレ蒔絵ヲ勤ム
菊之紋 九曜
家之紋 丸ニ曜
替之紋 丸ノ内一文字

道不
正平頃
元禄元年御蒔絵御用相勤
神君御治世御蒔絵御用相勤
元亀二年長一条御所御蒔絵御用蒙上意
天正四年ヨリ天神御所御蒔絵御用相勤
去ル

天正十二年長久手御陣前後
元和元卯年大坂之陣御供
頼宣卿江御附
万治元戌年六月死去七十六
葬地瓦町大円寺

道一　長兵衛　松平治郎右衛門与
実祖父者 葛谷惣兵衛後改紀伊
神君之御旗奉行 松平治郎右衛門

道次　五兵衛
実祖父者 同氏兵兵衛　神君之御旗奉行
業　弥人　所ハ同姓也
慶長十五年　六月十五日死去入定寺葬

同十九年九月
神君大坂御陣之節道次御供仕
其後御陣中御召出被仰付大坂御陣後御召
御父子御陣之御供仕候処御留守居御供也
人数ニ而御預ケ被仰付候
被仰付候ハ御留守之所江御供仕候
御用之御用ニ而御供仕候
中ニ而不及相叶御供被仰付
右御供江被仰付候御召抱
同年四月十九日大坂御陣ニ付御供仕候
其節御供仕候

慶長二十年七月御供仕候
相続御供申候
御供仕候

慶長十六辛亥年[illegible]
慶長十八癸丑年十二月[illegible]右衛門[illegible]
慶長十九甲寅年十月大坂[illegible]御陣[illegible]
乃申合割付以[illegible]御城中[illegible]
中ニ而御陣割[illegible]
同年大坂陣之節[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
相守[illegible]

慶長二十乙卯年大坂御陣五月七日[illegible]
[illegible]同日
神[illegible]
[illegible]
[illegible]
同[illegible]
[illegible]
同日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
五月七日[illegible]
二[illegible]

隠居江御機嫌相伺御参府被為在候処
神君之御機嫌ニ御役仕、右之通御尋ニ付宜候
奉存、上意之趣難有仕合奉存候、右之外品々
書付ニ而御役人衆御隠居ニ申上候得共、中々御承引無之
候ニ付、御役人衆御伺ニ而、山田右衛門殿被仰付候ニ付
不残者共ニ被仰付、右之通相伺、御書付被下置候
右之趣 上意ニ
元和二辰年正月
神君御他界ニ付、同年四月十七日
台徳院様御代ニ、御役御免被 仰付、御礼申上候処、御機嫌之
御事ニ付、右之御役儀御領分之内、御扶持被下置候御
中奥 上意之御書付、左之通被仰付候
其上右之御役
台徳院様より、年々御扶持被下置候
御取扱御書

元和五未年、御暇被下、御帰国被 仰付候
台徳院様御代御役被仰付
元和七酉年、加増五百石被下置、同
寛永十年七月廿四日御加増、御朱印頂戴
右御朱印之写、左之通
御朱印写

武蔵国入間郡之内
都合五百石
令扶助之訖、全可
領知者也
寛永十年
八月十六日 御朱印
蔵人 殿

慶安五壬辰年八月九日死
廿四歳 號慶安[illegible]葬于大林寺
号[illegible]院[illegible]居士

政信 [illegible]次 青山[illegible] 石野平次郎[illegible]

仕紀州

女 母同 別所某[illegible]妻

女 母同 早世[illegible]

道倫 母 [illegible]

妻 [illegible] 大久保豊之[illegible]女
慶安五[illegible]年[illegible]
[illegible]入[illegible]

寛文二[illegible]年七月[illegible]
寛文十[illegible]年十[illegible]月[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]年[illegible]死
[illegible]
号[illegible]院[illegible]居士

道[illegible] 母[illegible]次

母 大久保氏女

妻 [illegible] 大久保豊之[illegible]女

寛文七[illegible]年七[illegible]月[illegible]
貞享[illegible]年[illegible]月[illegible]
同年七月[illegible]
元禄[illegible]年七月[illegible]

元禄七甲戌年十二月三日御小納戸
宝永六己丑年十一月廿六日[illegible]
御[illegible]
元禄十[illegible]年[illegible]月[illegible]
[illegible]年[illegible] 大番隆 職役[illegible] 隠居

女
[illegible] 大[illegible]妻

女
[illegible] [illegible]妻

某[illegible] 後[illegible]

女

[illegible]

妻 [illegible] [illegible]

元禄[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]
元禄十[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]
元禄十[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]
享保元丙申年七月[illegible]
元文二丁巳年[illegible]月[illegible]
[illegible] 隠居

[illegible] [illegible]

女

妻 [illegible] [illegible]

元禄[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]
元文[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]
同[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]
[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]
[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]

清胤 母上同 [illegible]
享保[illegible] 志摩國 自[illegible]卒
神谷三左衛門清行養子 [illegible]

清貞 母上同
神谷[illegible]門[illegible]養子 [illegible]
寛保元年五月九日[illegible]
[illegible]清[illegible]養子

女 母上同
[illegible] [illegible]妻

女 母上同
[illegible]
九鬼[illegible]長妻

女 母上同
[illegible]
[illegible]妻

良孝 母某
[illegible]

女 母某
[illegible]
享保九[illegible]
寛延二[illegible]
[illegible]

女 母同
[illegible]
橘[illegible]妻

女 母某
[illegible]妻

母方

左膳
養母 堀田女
実父 左膳 猪之助 松平 文之助
実母 …… 柳原中左衛門女
妻 …… 貫 新左衛門女
安永二年十二月廿五日 ……
明和四年十一月廿八日 養父……
明和九年十一月廿五日 ……
安永六年十二月廿五日 ……
同年十月廿二日 ……
安永八年十二月 ……
寛政六年十月 ……

天明元年十月廿五日 ……
同年五月廿日 ……
天明三年十二月 ……
同 ……
天明八年十二月 ……
同九年 ……
寛政七年七月廿五日 ……

左郷 嘉三郎
養母 …… 貫 新左衛門女
実父 …… 松平 ……
実母 ……
妻 …… 某女
天明八年十二月廿五日 ……
寛政六年七月廿二日 ……

女　母　落合平右衛門妻　天明八申年四月生之

女　母　落合兵橘後昌妻

女　母　某女

女　母　上同

女　大番組頭　松浦猪之助部屋妻

道昌
　母　上同
　養子　兵橘

　實母　某
　父　御家人　中条武右衛門
　一母　某女
　落合伊豆守妻

明和元申年八月廿二日生
安政五巳年十二月廿六日浚家督相續
安政七申年七月廿九日病死
御礼
安政八辰年六月六日御礼

女　母　夫　落合平右衛門女

右ハ道昌實子之
二ヶ年七月召出　相勤申候
出羽國　松平

表六番所

安政五年

落合五郎橘

未十二月四日
山縣搦手組出

信紹係
岩城番
□
○
隣丹五平衛

家譜

と
深
十八

元山縣右衛門
藤谷健蔵印

清和源姓
落人ニ
家之紋　九之内三ツ橘
幕紋
替紋　花菱
先祖尾張出生渡人某之子ニ計ニ候
何方流浪仕候哉年代も相知不申候

正家　右衛門

母
中根五郎兵衛娘

案　有馬玄蕃

御尋之趣
年月不知　下総国ニ而被下　給候
東照宮より
御判之
慶長六丑年　知行四百石之
下総国香取郡銚浦村ヲ以右谷
村之内ニ而被下候
御目録之書付無之候　併六之衆
拝領
右之通

下総国銚浦之郷ニ而四百石
之事
右為知行可有所務者
也依如件
慶長六丑年九月六日
　藤堂高虎
右慶長年月不知　山城守依之下総
国香取郡銚浦村右谷村ニ而被下
候付慶長年中年迄所持仕明

神君より扶持米三百三十六俵御加増
拝領仕候
慶長十六年十月十九日死ス
年七十 信夫所正覚寺ニ葬之
葬之
法名 観之院徳誉玉月

安右
母
妻
久右衛門
一 内藤某女
実ハ[illegible]某養女

武州江戸ニ生ル
寛永年中知行正安右衛門武蔵国安右衛門
二男[illegible]被召出加増之[illegible]
[illegible]御紋[illegible]仕之
仕安右衛門内意[illegible]
寛永四年十月御番[illegible]
[illegible]宗[illegible]
十一歳[illegible]
御番[illegible]仕之
御番[illegible]
[illegible]葛飾郡

神谷村　百八拾五石
細谷村　拾五石
外ニ四百石　内作
三千石
宗雅代　合四百六十石
都合拾四石余
八千石　知行之也
寛永ノ記
十一月　寛永年中
寛永ノ至ノ之年
寛文三癸卯年九月廿六日死去年不
知　印ノ尊達拾九年　正貫　山寛

享年ノ　葬浅草永隆院喜庵宗観
正室　同苗門
女　蒔田長門守廣定女
妻　仁
印ノ出生
三千石　同組
大猷院様御代渡部屋住ニ　　正勝
御目見役ニ　　後改印

寛文八戊申年安部摂津守組江
同九己酉年七月朔日於奥ノ間
見習候　御広敷番人御目見
中奥御勤之
天和三癸亥年十二月廿五日奥御用人之
後御納戸組入被仰付
元禄四辛未年十二月廿五日御用人
同御膳奉行組頭被仰　後支配勤
同十四巳年四月朔日御名代之
御番被仰勤
同十五壬午年十二月十八日病死

法名道一　御役　河野某組
入之　後御目付組ニ被仰付
寛永十六年十月十六日死
葬浅草川崎浄真寺ニ納之

直次

母　某氏娘
　　某妻某女之母
年月不知　御番衆御役
御留守居道某子之事

正貞

久之助

母
妻　同組
白戸勘七
天和三亥年九月廿六日
常憲院様御代御広敷御書替入三郎
従前組ヨリ二人扶持御書替入　組替
二番御広敷組ヨリ入
元禄十三辰正月廿五日御役被召放
同年十月病死
法名　翠巌院前江元心

安朝　同組当倉
母　同前
年月不知北堂組ニ入御役被召放子無
同組宗庄町安朝惣領子成
京元　母　同前
御広敷ニ組ニ入
元禄十三年十月ヨリ組御広敷ニ入
京常長子成
正盟　母　勝三郎
家女

元禄七戌之年四月十六日父義兵衛儀
徒士ニ而被召出祖父八兵衛正堅嫡孫兼
祖父之願ニ
同年祖父八兵衛正堅跡之遠嫡孫被組
之組被仰付

正堅　孫之丞

実父　廣瀬八郎兵衛正貞
実母　某女
妻　某氏
嫡男　某

元禄十二之辰四月十六日父義兵衛病死ニ付
家督先年ゟ之通岩部丹後守組ニ
被仰付祖父八兵衛正堅依同年嫡孫兼祖
士組之処御番組被召出
宝永六己丑年六月十三日祖父八兵衛正堅
跡式ニ付祖父如前之岩部丹後守
組ニ被召出所ゟ組之儀宝永七年
十月十三日中川組被仰付松平
隼人組被入
同七庚寅年十二月十三日九月二日
某候而　自飛驒守不意御請候

養女　中根平十郎正致妻
実父　同組　同前（?）
実母　同前

正致　長次郎　平十郎
実父　御使番（?）　西河（?）庄兵衛義都次男
実母　同人　長田三右衛門女
妻　藤田（?）彦三郎正賢（?）養女
同上　某

平川与組正恒養子ニ被　仰付
宝暦八寅年二月十二日遺跡正堅
跡式（?）小普請組相続小普請組へ入
之後（?）[illegible]紀二[illegible]
安永九庚年十月五日書院番組ニ
御番入（?）[illegible]組ニ入
同十酉年四月十二日御納戸番ニ被
仰付後[illegible]勤之内[illegible]
小普請組ニ入[illegible]
[illegible]
天明二寅年六月[illegible]

加々爪甲斐守組与頭ニ而　御目見以下之者ニ
勤候内無之由ニ付
宝暦十三年六月廿九日ニ書替
清水番龍渓御出候有之儀

正章　組与力　大番　西丸

女

妻　家女

早世　西川治兵衛女

宝暦二申年五月廿七日病死

御小性組
惇信院様　御代従部屋住御番
入　御小性組酒井日向守組
御番衆　被仰付候　御小性組
宝暦十辰年十二月朔日　御代替ニ付
新御番
惇信院様　御附　番所勤
同十一巳年八月廿日御免
御番
同十三未年六月廿九日
同年九月二日　又御番入被仰付候

同七年従五位下叙任之官位

上勤部卿任之候其外御役切之

三百俵之拝領

同年十二月廿五日

本栄院様之御附酒井出雲守組之節

宝永元申年九月廿五日死去六十歳

門前上寺ニ葬 法名 圓院 鞏傳

妻

二條殿家臣

比某 妻

実父

一 某 女

女子

母

安藤某

山川某 妻

某

正道

某

母 某 母

妻 中 某 母

宝永元申年十二月廿五日 死去

小普請組大久保玄蕃頭支配ニ入、後
普請役元締支配ニ成、隠居願之通
天明八申年十二月廿七日願之通
隠居被仰付

義種
母　御門奥之丞女
御門保五郎母
年月不知中ノ合并世病死之趣不知
川保五郎義幼年之節死

道営
母　仙台
同断

正永
母　渡辺彦助
中嶋四郎兵衛
中嶋四郎兵衛妻養女
妻
江戸生れ
天明八申年八月父隠居家督被仰付
同年十二月廿七日隠居之代り家督被下
小普請組世話役支配ニ入

寛政元酉年六月十日松平信濃守
支配ニ割入ニ付信濃守方ニ預被成候
寛政四子年九月十四日願之通
大明　一貫文之内同所ニ而相勤候
同年十二月十六日御先手組へ
一　彼是河野助之進組ニ被仰付候
支配
寛政六寅年六月十八日新ニ一妻
一男
一　母
中田□□娘　母
右之通相違無御座候

右書上候
右之者共家中之内ニ而相勤候
御座候三百石之所
寛政十一己未年十二月
　　　　　　　　　□□□組
　　　　　　　　　□□河野□□
　　　　　　　　　　　　二十六
　　　　　　　　□□□□印　花押

下 十二月何日 公

従位官
官位書 ○ 御実名御判

充所書

を
御判
紀判公

何之朝臣
藤谷公卿へ

先祖書

清和源氏　藤含

家紋　丸之内二柏
替紋　丸之内河骨
幕紋　丸之内二柏

一　人皇五十六代清和天皇之後胤経基
ゟ拾七代目美濃守従人藤含二郎
因時ゟ拾五代目藤含同苗弥重定
近藤列酒井之中別紙ニ相認申候
あけ仁右衛門右重定御座候

一 元祖　中国 生国 尾張　藤堂三郎兵衛 [illegible]

母　藤ノ本郷女

右三郎兵衛儀織田信長公ニ仕

節任官仕候

蜂須賀様家政公ニ入 仕 大閤奉公以後

蜂須賀様御帰参仕候

秀康公 御目録被下之節

仕置被為 蜂須賀 家政公 御通 并家丹

様方同心 先ツ御家相 被下之候

正勝入仕置中候 家相丹後守

右人

蜂須賀様 御時可仕 記録文之通ニ

仕候 家光公 御代 丹後守 御時ニ

御相之家 御城 仕置之通

被仰候 入仕中之候

蜂須賀様 久三郎 秀康公御目見

御奉公 御用 御事

御城 仕 御帰中之 御

大坂 御 蜂須賀 仕之候 御城ニ

早速 御 御迎 之之 被成

御役 被仕候 別 被

右之通差上申候

檜須様 添書 同文 御組之 御役人中
右御役人 御役所御添書差添

一冊差添候

檜須様御役江御渡被成候ニ付京極丹後守

一 同年五月大目付刑部殿へ掛り合

并三ヶ所仕置之嘉村御代官所

村々江差出候ニ付御差紙添

御船御用仕立之御證文之

御蔵所ゟ御渡被遊候

二月御渡 青蔵之助

御普請之儀 御船御手配之儀

御人足之儀 青蔵之助

御判物并 御組衆 被仰渡

通達之儀

右御渡文字

船々御用之節

一 三百石 中京 九合 村

一 二百五十石 村

一 二百九十石 村

一　高弐千三百八拾七石九斗　三田郡　岩保村
六升八合

一　高三百拾四石四斗　同郡　西光寺内
四升七合

合弐千石余

右知行目録之宛行遣畢
者永不可有相違也仍如件

慶長六年
丑九月十日　秀康御判

落合新八郎殿

宛行知行之事

一　高百五拾三石三斗　大野郡　中荒井村
七升九合

一　高三百拾石八斗　同郡　御所村
六升四合

一　高三百九十石　同　六呂師村
六斗

一　高四百石　南方郡　深谷村

一　高四百石　丹生郡　田野村

一 三石壱斗九升四合 六勺八才 三ヶ所 新屋村

一 三石四斗六升六合 四才 九ヶ所 宮村

一 三石四斗九升四合 五勺七才 五ヶ所 大月村

一 三石五斗六石 七勺六才九毛 九ヶ所 浜田村之内

合高拾三石余

右石高子孫令相伝所被下置候 知行所如件

明和四年 四月廿日 藤堂主殿

且又朝鮮ハ戦乱之後加藤清正ニ属シ

手勝朝鮮国ニ被渡海於国家

被令方御指甲所持仕

万治三庚子年六月十五日於朝鮮者

死紀州ニ而元年 卒

妻 浅清妻 [illegible]田豊後守女

惣領 清兵衛 藤倉某 六歳

次男 [illegible]

女子 [illegible]田七郎兵衛妻

女子　津田平三(?)信(?)政(?)妻

女子　藤(?)八(?)七郎兵衛(?)室(?)妻

二代目　菊田五(?)清(?)　右衛門　重長

母　高田豊後守(?)女　信(?)安

右重長幼少ニ而父(?)[illegible]大坂(?)ニ而

浪(?)人之節(?)於御目(?)見極月(?)ニ而

九(?)百(?)石(?)ニ被(?)仰付組(?)之(?)百(?)石(?)[illegible]

深(?)之進(?)ニ被(?)仰付(?)其後(?)生(?)保(?)深(?)有(?)

七百(?)天正年中(?)[illegible]江(?)重(?)長(?)之(?)

計(?)[illegible]

[illegible]紀(?)伊(?)[illegible]

権現様　秀(?)忠(?)公(?)之(?)入(?)之(?)後(?)[illegible]

勝(?)寺(?)家(?)譜(?)[illegible]

[illegible]

浪人ニ紀州(?)ニ罷(?)越(?)紀州(?)大納言殿(?)

[illegible]

寛文二年(?)[illegible]月(?)死(?)　紀州

之(?)[illegible]

重長妻　中川(?)[illegible]女

惣領　藤堂金七郎　右馬　實次
右者右馬義龍紀州引取候ニ而
千石ニ而召出
此者病死仕候
次男　此者佐渡　實實

三男　浪人而相果候

女子　田中九郎妻

三代目　藤堂紀伊　佐馬　實忠
後号同名

母　中川出雲守女
右佐渡ハ義龍紀州引取候ニ而　病身
而節六之丞

實忠妻　宗安

惣領　紀伊守　藤堂金十郎　實忠
年月不知藤金十郎病死　歳

二男　浪人ニ而相果申候

実曽　紀州家中　別宗六左衛門条

年月日不知　別宗六左衛門[illegible]成

実父　紀州家中　南條[illegible]

実母　生国紀伊　寛政六年　郷八郎之

母　義母

右者之儀

元禄十五年八月於紀州新宮

[illegible]

同十四年乙酉年五月於山城

御覧御通御目見[illegible]

同年七月於[illegible]　継目

享保元申年五月徳紀州[illegible]

右同年八月[illegible]　継目

前々通[illegible]　継目

其之[illegible]紀伊家中

奥村別[illegible]

打[illegible]

享保[illegible]年[illegible]通

紀年[illegible]　継目

同七子年十二月廿八日浅野式部殿
従五位下 御小納戸ニ 従五位下叙爵
右京亮
同十四巳年十二月廿八日御小性ニ
被仰付候
去卯年六月中旬より病気
ニ付御小性 御免被仰付候
同年四月十八日隠居
御免寄合ニ 従五位右衛門
[illegible]奥村[illegible]新知[illegible]
被仰付[illegible]御役御免

號中 松平家御續ニ付[illegible]
御卯年[illegible]
申付候
同年同月廿八日[illegible]
[illegible]伊勢守[illegible]
従五位下 [illegible]
同[illegible]年[illegible]月[illegible]
従五位
元文[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]
[illegible] 従五位[illegible]
延享二丑年七月廿九日 六十三才

元禄[illegible]年[illegible]卒

豊久妻　家女

養子出産　從弟ニ而候

女子　四ノ月　大井信濃守持方妻

女子　元禄四年生　永禮郷左衛門妻

女子　元禄四年生　落合[illegible]

六代目　生國信州　[illegible]　落合郷八

實母　家女

實母　落合次兵衛室　女

右郷八儀父郷八跡ニ而

寛養子ニ相續

元文元辰年六月廿七日父

郷八跡目

信濃守様御代

延享二丑年十月二日父郷八

[illegible]

[illegible]

同三月二日

有徳院様御附ニ而小姓組北条壱岐守組ニ

被召入候後支配大番組ニ成

享保二丁酉年十二月廿七日

有徳院様御附御小納戸江 御役替被 仰付

同五年御加増二百俵被下

布衣ニ 被仰付 右去年より御免

中奥御小姓被 仰付

同四未年六月十六日

惇信院様御附 被仰付

有徳院様ニ 被仰付西丸御馬場御預

馬術等相勤候御褒美金三枚被下

有徳院様之紀 薨御ニ付

同年七月十二日寄合ニ 被仰付

宝暦二壬申年六月廿五日

大納言様御附御小納戸ニ 被仰付

同九卯年六月願之通隠居

ニ 被仰付

同十辰年五月御切米被下

江 被仰付

同十二未年二月十五日願之通

馬場

竹千代様御誕生ニ付流鏑馬射手江
従弓頭節為　御褒美金二枚被下
明和元申年九月廿六日
権現様百五十回御忌御法会ニ付
右之節流鏑馬射手江　御褒美金二枚
同二酉年四月十六日
浚明院様　日光　御社参ニ付
従弓頭節中江
安永五申年二月十四日[illegible]
尤右之
同七年十二月十六日　[illegible]　従弓頭ニ而病気ニ付[illegible]
[illegible]道

御役　御先手弓頭　従五位下
同年五月廿六日八ツ時死去
葬　　誓願寺[illegible]
后又妻　　森合郷八豊之女
総領
[illegible]
生母　　[illegible]
生母　　[illegible]
女子　　[illegible]

妻　若年寄支配小普請　松井
　　御小納戸　又　娘

六代目　生国武蔵　落合鎌八久鑑

養母　落合鎌八豊久女

実母　妾

孝恭院様御宮参之節少人踊罷江
　御目見
浚明院様江
　御目見仕　浚明院様御中陰中

右奉之支度ゟ御座
宝暦十三未年三月十六日初而罷
浚明院
　御目見仕右同日従西丸御本丸江
浚明院様江
馬代銀上ル　江戸表御目見仕
従西丸高輪山崎ゟ御本丸様江
浚明院様御中陰　御目見仕
従西丸御年始　御目見御礼江
一同　御目見仕　従西丸
右奉之支度　浚明院様一同
御目見仕　従同年九月廿六日

孝恭院様御宮参之節御供相勤申候
明和元申年九月六日於朝鮮
馬場
御三卿様御遠見騎射相勤申候
同五子年十二月廿九日西丸
御小性組水谷伊賀守組与頭
様御番相勤候
之 被仰付
安永二巳年五月七日淀部屋住
御小納戸江
被仰付 松平左京大夫
之 被仰渡

同年十二月十六日布衣ニ 被仰付
同三午年四月八日東向大納言
上様之御前召出御召物被下候
之節大納言様 上様御人数
家基様御元服被下候
同五申年十二月六日小性組番
御殿之御側御召御騎射被下候
同月廿六日時服二被下候
同六酉年三月朔日騎射相勤
之 同年同月廿日御馬所御寄附
被下候

天明元丑年五月廿六日父卿八
病死ニ付父子同道ニ而表疏或ハ
翌同年八月六日御目見被仰付
縞戸并勤前兼之通御役料
三百俵外ニ五百俵之通被下候
ニ付候
同年十二月朔日御役御免ニ付
御目見御成之節御勤之儀
相当勤候ニ付御役御勤中ハ
同二癸卯年十二月廿六日御旗奉
行迄ニ被仰付

同四辰年四月十六日被仰付　御目付
諸村　上御役之事被成候
物頭被仰付
御書院番　養御旗
同七未年四月十七日御小普請之通
御勤仰付　被仰付
同年十二月廿二日九番目　被仰付
寛政元申年十二月廿日
又右衛門儀此度御旗奉行
被仰付御目付兼勤候
類役并同役之者　被仰付

寛政二庚戌年十二月廿八日　於芙蓉之間
御書院番　上総守組
同三辛亥年四月廿六日　於躑躅之間
御目見　上総守以　組頭申渡
御酒肴頂戴仕
同年九月廿八日　於芙蓉之間御縁側
上総守以　組頭　遂御褒美
御目見之上　組頭即日参上　被仰渡
殿中ニ而御酒肴頂戴仕
寛政七卯年四月廿六日御小納戸
組頭無之通以御役御免被仰付

是迄組頭之上ニ而御広敷番之頭被仰付
組頭江
同八辰年二月廿四日
大納言様
御小納戸頭取被仰付　組頭申渡
安永度御嘗御座之御膳
同年七月　八日　御役御免
組頭江

妻
松平河内守家来
山本弥右衛門娘
鈴木清左衛門娘
女

惣領
斎藤式部時久

寛政七卯年十二月十五日於
躑躅之間 御目見仕候

次男
享和元年十二月廿四日亡父年齢
藤井能之助
松平某養子

三男
父存命之内他家江養子
藤谷治三郎
一

娘
武人
一

布衣之通無之
寛政十一未年十二月
藤谷郷八
一

一 養子 新

未三月晦日
御勘定奉行江出ス

七十歳 藤谷
□
○ 当時
弐拾歳、

先祖書

二冊合字

申十月
御勘定吟味役
藤谷三郎左衛門

此之旨を以補任之旨承之

大蔵寛経兄弟
河内通信返

藤信

藤原景高

藤原姓
藤原
御劔所悪徒通時代宮居山内之神之役
之節之養子通氏今川家ニ仕ニ部藤原ト
家之紋丸之内一文字　数寄者之養子之政丸内一文字
刑部悪徒通家之紋之旦子宇子之一文字子用
中之目之代之家之紋用其然之所之通氏
今川家之江之部申ヲ丸之内一文字用候也申
代之

大蔵寛経
母
大蔵寛大伴比子卿女
天武天皇八年没中臣為藤原

不比等

房前　参議　従三位

真楯　大納言　正三位　贈太政大臣

内麿　右大臣　近衛大将　贈太政大臣従一位
後長岡大臣

冬嗣　右大臣　左大臣　号閑院大臣

基経　右大将　関白太政大臣　従一位
贈昭宣公

忠平　左大臣　摂政太政大臣　従一位
贈貞信公

師輔　右大将
号九条大臣　正二位

済時　大納言
号小一条大臣　贈右大臣　正二位

為任　伊豫守　従三位
実資卿中将射殺

師通　伊豫守　従三位

通家　上野介　従五位下
長暦元年四月乃卒

資清　五郎
又通家五郎国住ノ次男左衛門尉也
左馬介

資通　安芸守
寛弘元年十歳ニ而従五位ニ叙ス
治之年会ニ時十二歳　通義宗方所紹
刑部権守

資通　刑部丞
此座ノ時国山崎領主代官出居于時関白
一条殿ニ拝謁仕并公家衆モ御下
向之節者一条家中ニ而紹

経資　刑部丞[?]

通直　五郎

行道　太郎

通方　図書

通定　小七郎[?]

信通　源之丞

通判　右衛門

脩通　四郎

行通　右衛門

通氏　宗兵衛
享保八卯年三月家督相続仕候

通信　河内

年寄共より新渡申文之写之通所持仕候

分別不具之候へ共清和源氏之流紛無御座

年寄共より新渡申文之写之通所持仕候得共

右勢清右衛門筆跡有之候

右親代之事并系図等相違無御座候

所持仕候者共へ御尋被成下候

右之通大國寺様ゟ御改ニ付系図相違之段申上候

以上

享和三癸亥年十二月　藤谷宗直（花押）

藤右衛門　落合

大猷院殿御代落合河内通俊之弟依
思召被召出御小性組番相勤之後

家之紋　桔梗之内文字

替紋　右同　替紋　[illegible]

落合河内通俊嫡男

通秩　三郎兵衛

母　[illegible]女

妻　[illegible]女

寛永二十癸未年十二月小性組

年[illegible]

献[illegible]

通武　三郎左衛門　御小姓

母　板倉[illegible]女

妻　[illegible]女

生母

天和二壬戌年七月十二日[illegible]

[illegible]

同年十二月廿五日[illegible]

天和二壬戌年十二月[illegible]

[illegible]同姓

元禄二癸酉年九月九日拝借物御下ヶ被仰付候
御免被成
宝永四亥年正月廿九日年数相勤候ニ付
御暇被下置候

通節（ミチトミ）

始 某 後 某

奴

中村勝右衛門養女
妻 実ハ渡辺市左衛門女

生所

宝永四亥年九月廿日 御目見 仰付候
相勤申候

享保九辰年八月廿一日御用御勘定奉行
被仰付候御役料百俵被下置候
同年九月朔日御加増 御蔵米
上ヶ候
同年十二月廿八日御勘定奉行御役
御免 御暇被下御小普請入 被仰付候
同十一年正月
宝永元年十一月病死
同年十一月十二日 跡式
寛延四年十二月廿六日 死

明和六己丑年十二月廿日卒　歳六十八

葬甲府甲府長禅寺　法号　戦枕日紅

右四ヶ出生所甲州代官支配所也

女子　甲府御番　名取新十郎自高妻

女子　小初　同所　甲府御番士　破殿深沢吉兵衛妻
　　　　　　若年死　法名大翁

通純　同所

妻　甲府御番士　名取新之丞女　馬渕新蔵正経母

宝暦七丁丑年十二月十三日父八郎右衛門通

純病死ニ付跡目相続甲府勤番被仰付候、安永元

壬辰年十二月十七日悴義郎遁行元

ニ仕候旨被仰付候

同九庚子年四月廿三日八郎左衛門通純病死

天明四甲辰

同七丁未年四月十二日八郎左衛門通純病死ニ付

同七年七月八日甲府病死七十七歳同所

法号

女子

甲府御番　馬渕新蔵妻

女子　同母

女子　同母　甲府御書院組頭[illegible]妻
甲府御書院[illegible]　石川[illegible]妻

通明　同母　二歳[illegible]

通脩　母　[illegible]　馬場新蔵女

[illegible]妻　甲府御番　山田[illegible]　深津[illegible]女
寛政五癸丑年[illegible]家督通脩嫡甲府御番大久保[illegible]
勤[illegible]

女子　母　馬場新蔵女

女子　同母　早世

女子　同母　早世

通延　同母　[illegible]

女子　母同

女子　同母　右同意　先年離縁　石川与三郎後妻

同母

昭緘　母　源八郎　貞右衛門養子　自害

天明四辰年六月廿六日御目見年〻御猶之父卒

教通（ミチ）　母　新五郎　江藤孫之丞女

妻　本多縫殿之元　賀茂七郎右衛門養女

通詮（アキラ）　右中将　鉄太郎

通清（キヨ）　同母　八百八

女子　同母

右之通寛政十戊午年差上候御帳面之写

一、高五拾石　本郷四　本国近江
　　　　　　　　　　　生国山城

諏訪部甲斐守組外御番小路

享和三亥年十二月　藤谷三郎九郎
　　　　　　　　　　　三十二歳
（花押）

未六月廿七日
小田中務少輔

清和源氏
小笠原中務○堀江若狭

系譜

壱
原

小普請組小田中務少輔支配
尾崎安宗

清和源氏
尾崎
葵之紋　丸ノ葵巴
家之紋　左り巴
替紋　下ノ字車

今川家臣
尾崎市右衛門

信重　初ハ文

母　不詳

元禄五年生
宝永二乙酉年十二月十二日卒　法名□□□□

相模国三浦郡□□村

高六石余 午九御役所 御蔵前
小普請金村六石余 年御用上納
番所御門 田山村 百姓 七
杉田 金六両 之
寛永二
十二月 御勘定
庄屋御文代

信正
七之助
寛文八申年 家督
寛永二年 御番入 四十俵 給
寛文八申年 八月 卒
寺町 光 法名 ... 日光

年 ... 入 大番
神田 ... 五十俵 三百四十石
明 ... 六月 ... 死
寺町 ... 蓮 ... 法名 ... 日 ...

信久
助十郎
實 松平 九 ... 之 ... 男
實母 ... 家女
万治二亥年 十二月 ... 五十俵 ... 三百
寛文元丑年 九月 ...
神田 ... 小 ... 七十俵 ... 九十石
... 給
延宝八申年 ... 給
天和二戌年 六月 ...

同年十月入大奥[illegible]年[illegible]死

宝永二酉年[illegible]御[illegible]

常憲院[illegible]御附[illegible]

宝永六丑年二月[illegible]入大奥[illegible]

正徳三巳年[illegible]月[illegible]入[illegible]

享保二酉年七月廿九日[illegible]

葬[illegible]寺[illegible]院[illegible]

享保[illegible]

[illegible]

勝光院

〻〻宮

妹　[illegible]母

妻　[illegible]女

宝永六丑年[illegible]月[illegible]日[illegible]

享保六丑年十月十九日[illegible]

享保九年十二月[illegible]

享保十七子年十二月[illegible]入[illegible]

元文二巳年[illegible]月[illegible]

寛保四子年二月七日死

葬[illegible]寺[illegible]院[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

享保[illegible]年十二月[illegible]

享保二十[illegible]年[illegible]月[illegible]死

某

常之恵

母　[illegible]女

正徳二辰年七月十六日死

葬同寺　号[illegible]常有

克敬 ヨシタカ 徳次郎

実母 某氏女

実父 梅井五郎右衛門

養母 同母

妻 [illegible]

元文元辰年九月 [illegible]

元文三午年六月 [illegible] 入 [illegible]

元文五申年正月 [illegible]

宝暦 [illegible] 年二月十九日死

[illegible]

信常 [illegible] 戸之助

実母 [illegible]

養 大河内 [illegible] 飯塚 [illegible]

妻 [illegible] 松平 [illegible] 女

妻 酒井 [illegible] 中 [illegible] 女

享保十八丑年九月 [illegible]

宝暦 [illegible] 五月 [illegible]

宝暦六子年 [illegible] 入 [illegible]

宝暦十辰年六月 [illegible]

宝暦十三未年 [illegible]

明和三戌年 [illegible]

安永 [illegible]

安永五申年五月 [illegible]

天明八申年二月 [illegible]

禁裏 [illegible]

林 [illegible]

[illegible]

安政元寅年八月小普請組支配…
町七丁目支配…
…
安政五午年十月…
安政…
…
安政…年十一月…
同年七月…

信之 母某
文次郎 明和九辰年…

信行 母中根氏女
安政五午年六月… 幼年

信凱 母某 岩五郎

信見 母某 豫作

信保 長男 亀之丞 母中根氏女
実父 小普請 滝川小膳…
実母 …
安政…

女 母松平氏女
…秋山…妻

女 母中根氏女
…後室

女 滝川…
大久保…妻

母 父
右之通御座候

高三百四十九石 [illegible]
四百四十俵 御蔵米 [illegible]

安政七年申二月

尾崎[illegible] 年三十六

未十二月
戸田中務少輔

新規 口
[illegible]

系譜

控

小普請組戸田中務少輔支配
尾崎貞之[illegible]

橘氏　尾崎

橘経見之四代孫経之介常継世々相続号尾崎
経房後江源兵衛尾崎勘右衛門事左兵衛尉同能登守
受文五百石

幕紋　五三桐
家之紋　九曜
裏紋　五三桐

常継嫡男
常光　紀之助　左兵衛　紀伊守　極

母　某女
　妻　某

元禄元戊辰年十月五日生
元禄十三庚辰年十二月廿三日誕

堀田伊賀守正吉養女 実ハ[illegible]

後妻 入江[illegible]女

寛永元申年

西丸御徒

寛永二酉年 二月九日 召出

正保三年 九月廿六日 御役替 為御書替 御足

百俵 御書院番 加増

寛文七未年 正月十一日 加増 後 八百俵

元百俵

正徳三巳年 五月十六日 小納戸 [illegible]

大猷院 [illegible]

元文四未年 [illegible] 隠居

宝暦八寅年 十二月廿八日 死 七十一

葬 [illegible]

常長　母　家女　[illegible]

享保六丑年 二月十三日 [illegible]

元文四未年 [illegible] 月 [illegible] 大番 [illegible]

宝暦二申年 六月廿二日 [illegible]

宝暦八寅年 正月十七日 [illegible] 二十八

葬 [illegible] 院 [illegible]

女　母　家女

長子 [illegible] 常年妻

常年　定 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元文四未年 十一月 [illegible]

寛文四甲辰年五月三日初而御目見仕候
寛政二庚戌年十月十三日病死七十歳
寛政七卯年六月十三日御預所支配
寛政八辰年十月廿八日小普請入
許可之趣

常存　実子

母　渡辺氏女

妻　中嶋…　渡辺弥三左衛門娘

常実　八十之丞

母　右同

女　川…之　田辺勇之丞妻

母　右同

女　宗…部常…　半次郎妻

母　右同

右之通御座候以上

高百五十俵　御蔵米取

寛政十二申年正月

小普請組　…支配

尾沢与惣　五十九

酉

未六月晦日
伊右衛門御渡候写

平氏
百七十七度○□瑞典寶永年

系譜

平姓

小普請組
伊右衛門支配
屋敷若之進

平氏

尾崎氏

先祖相州浪人ニ而横山佐馬ト名乗

幕之紋　丸ノ内二ツ引

家之紋　丸ノ内二ツ柏

替紋　丸雁金

横山佐馬助

種武　尾崎猪次郎

妻　石氏

嫁　松野新右衛門娘　堀中今ニ而母

元禄十四年十二月廿六日

稲田行屋ニ先祖町家ヲ尾崎ニ相改申候

貞享四卯年十二月十八日御作事奉行被仰付[illegible]

宝永元申年十二月廿一日

西丸御留守居被仰付　従五位下[illegible]

宝永二酉年二月[illegible]

同年閏四月十六日[illegible]高都合[illegible]

宝永七寅年四月[illegible]

[illegible]千五百石[illegible]

正徳二辰年五月十八日[illegible]

入江[illegible]女

宝永三戌年[illegible]入[illegible]山[illegible]女

宝永七寅年七月[illegible]元文六年[illegible]

法号[illegible]

号[illegible]葬[illegible]

女　[illegible]　大久保[illegible]妻

女　[illegible]

[illegible]大久保[illegible]母

権[illegible]　実[illegible]　大久保[illegible]

母[illegible]

宝永[illegible]年[illegible]八月[illegible]

酒井[illegible]

宝永七寅年九月[illegible]入[illegible]

宝永七[illegible]

[illegible]

明和元申年[illegible]月[illegible]

明和四亥年十一月廿七日御目見
安永七戌年十二月廿六日御先手与力見習
家督被下置
寛政八辰年九月廿五日御蔵奉行被仰付
候処依願御役御免
寛政九巳年十一月廿九日御役
寛政十午年六月廿六日御番入

稙次　実　兄
尾崎某
　長八　惣領
　　　　嫡子

稙定　実
尾崎某
　実　柳生某養子

稙利
　前川某

女
　尾崎某妻
尾崎某　稙
　　善

養女
一　堀田三郎左衛門
　実　某
　大久保

稙勝
　実父
　実母
　妻
寛政七卯年十二月十七日
寛政十一未年
同年同月
寛政九巳年十二月十八日

権篤　尾崎浪次郎
実　忠順

女

祐篤　淺次郎

女
右之通御座候以上

高百五十俵　本国　伯耆
　　　　　　生国　武蔵

此者高祖父伊豆山四郎左衛門時此者高祖父被召出候処[illegible]
四月[illegible]十[illegible]被召出[illegible]
御代

寛政十一己未年十二月　尾崎浪之進（花押）

未ノ二十一

国立公文書館
National Archives of Japan